

本件は警察庁からも発表しています。JAFからは、国土交通省記者会、自動車産業記者会へ資料を配付しております。

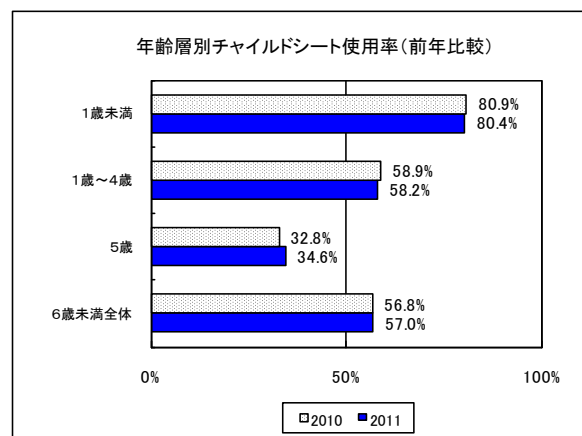
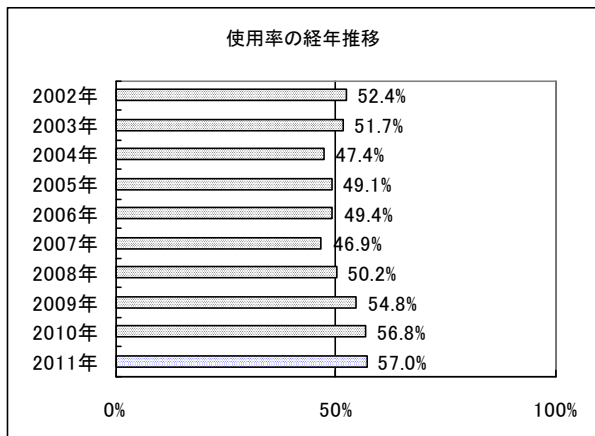
本部広報 2011-036
2011年7月6日

チャイルドシートの使用率は57.0% 年齢が上がるにつれて使用率が低くなる傾向は変わらず

JAF（一般社団法人日本自動車連盟、会長田中節夫）と警察庁は、自動車乗車中の6歳未満の子どもを対象に「チャイルドシートの使用状況」と「チャイルドシートの取付け状況」等の合同調査を全国で実施しました。結果（要旨）は、以下の通りです。

（1）チャイルドシート使用状況調査

- 調査期間 2011年5月26日（木）～6月4日（土）
- 調査場所 全国100カ所 ○調査対象 12,943人
- 調査結果



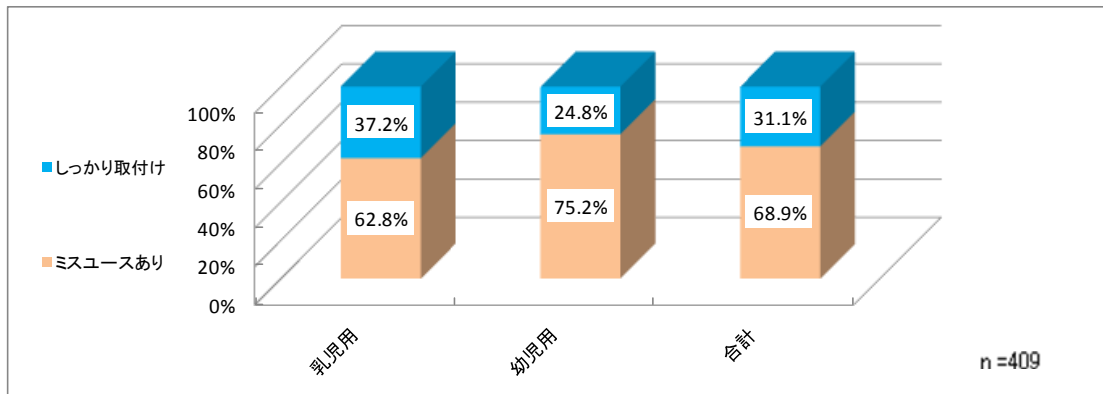
- 6歳未満の子どもの使用率は57.0%（前年56.8%）で、ほぼ横ばいとなりました。
 - 乳児用シートを使用する1歳未満（80.4%）と比べ、学童用シート（ジュニアシート）を使用する5歳児（34.6%）の低さが目立ちました。
- よって、今後も学童用シートの使用啓発が重点的に必要と言えます。

（2）チャイルドシート取付け状況調査

- 調査期間 2011年5月26日（木）～6月4日（土）
- 調査場所 全国8地域（北海道・宮城・東京・愛知・大阪・広島・香川・福岡）

（次ページへ続きます）

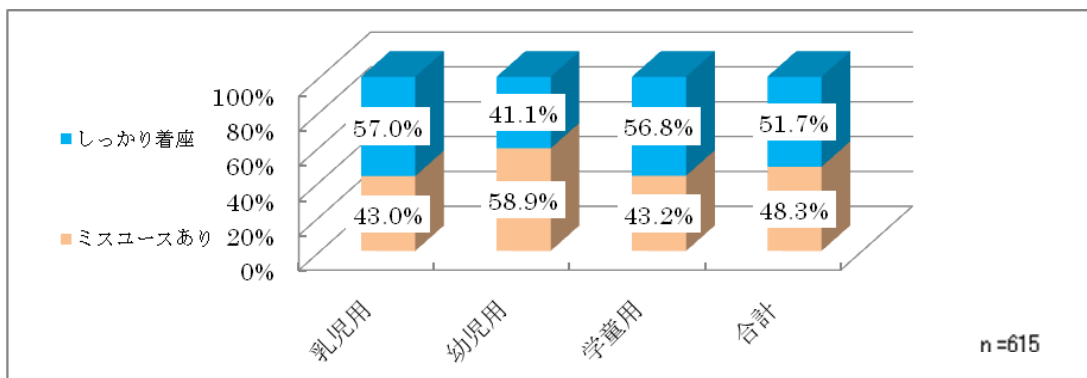
○調査結果



●取扱説明書通り正しく取付けられていたものは、乳児用シートが37.2%、幼児用シートが24.8%。ミスユースの原因は「シートベルト（腰ベルト）の締付け不足」が目立ちました。

（3）チャイルドシート着座状況調査

○調査結果（調査期間および場所は取付け状況調査と同様）



●取扱説明書通り正しく着座されていた子どもは、全体で51.7%。ミスユースで最も多い原因は、乳児用・幼児用シートは「ハーネス（子ども用シートベルト）の締付け不足」で、学童用シートは基準の体重（15kg～36kg）に満たない「体格不適合」での使用が目立ちました。

JAFでは子どもの車内の安全を守るため、全ての席でのシートベルト着用推進とあわせ、チャイルドシートの正しい使用方法に関する啓発活動を積極的に進めてまいります。

■添付資料

◆2011年チャイルドシート使用状況全国調査結果（2頁）

※「2011年チャイルドシート使用状況全国調査」結果（PDF）は、JAFホームページのトップページからダウンロードできます。→<http://www.jaf.or.jp/>

このリリースに関するお問い合わせは、

JAF交通環境部 電話 03-3578-4915 へお願いします。